

3) 平成23年度の発生に鑑み注意すべき病害虫

北海道立総合研究機構 各農業試験場
北海道病害虫防除所
北海道農政部 食の安全推進局 技術普及課
農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

1. 試験目的

平成 23 年度に実施した調査および試験結果から、特に注意を要する病害虫について注意を喚起する。

2. 平成23年度にやや多～多発した病害虫

- (1) 水 稲：イネドロオイムシ
- (2) 小 麦：赤かび病
- (3) 大 豆：マメシンクイガ
- (4) 小 豆：食葉性鱗翅目幼虫
- (5) ばれいしょ：黒あし病
- (6) てんさい：褐斑病、根腐病(黒根病を含む)
- (7) たまねぎ：タマネギバエ
- (8) ね ぎ：ネギアザミウマ
- (9) はくさい：軟腐病
- (10) り ん ご：モニリア病、モモシンクイガ

3. 平成24年度に特に注意を要する病害虫

- (1) てんさいの褐斑病

平成 22 ～ 23 年に 2 年連続で道東を中心に多発し、伝染源の密度が高いと考えられる。抵抗性品種の作付けおよび適切な薬剤散布により被害を回避できる。

- (2) トマト・ミニトマトの葉かび病：図 1

葉かび病抵抗性遺伝子 *Cf-9* を持つ品種を侵す新レースの発生が、石狩、後志、渡島、上川および留萌地方で認められている。現在、新レースに対して抵抗性を示す市販品種はない。新レースであっても、薬剤の防除効果は従来と変わらないため、薬剤散布を励行する。

4. 新たに発生を認めた病害虫

- (1) 水稻のイネドロオイムシ：図 2
(薬剤抵抗性個体群の出現)
- (2) 小麦の赤かび病(耐性菌の出現)
- (3) 大豆のダイズシストセンチュウ
(抵抗性品種打破系統の出現)

- (4) 大豆のオオタバコガ(道南)：図 3
 - (5) 大豆のヨモギキリガ
 - (6) 小豆のアズキ茎腐細菌病(病原菌の同定)
 - (7) 小豆の萎凋病(新レース)
 - (8) ばれいしょの紅色斑点病(病原菌の同定)
 - (9) ばれいしょの夏疫病(新症状・塊茎病斑)
 - (10) ばれいしょのネギアザミウマ
 - (11) てんさいのハスモンヨトウ
 - (12) だいこんのリゾクトニア病(新症状：道南)
 - (13) キャベツのホソバハイイロハマキ
 - (14) ブロッコリーの黒すす病(道南)図 4
 - (15) ほうれんそうのネギアザミウマ(道南)図 5
 - (16) トマトの斑点病(病原菌の同定：道南)
 - (17) かぼちゃのつる枯病菌
 - (18) みずなのリゾクトニア病(道南)
 - (19) さつまいものヒルガオトリバ(道南)
 - (20) カーネーションのべと病
 - (21) ぶどうのつる割細菌病(道南)
 - (22) ぶどうの晩腐病(病原の追加：道南)
 - (23) アロニアのウスムラサキイラガ
 - (24) カシスのウスムラサキイラガ
- *道南地域で発生した病害虫には「道南」と付した

5. ならに発生する病害

- (1) 白斑葉枯病
- (2) 白色疫病：図 6
- (3) 軟腐病
- (4) 白色葉腐病
- (5) 褐色葉枯病
- (6) べと病

詳細については北海道病害虫防除所のホームページ(<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>)に、また、「5. ならに発生する病害」の詳細は道南農試のホームページ「なら病害虫事典」(<http://www.agri.hro.or.jp/dounan/dounan.htm>)でもご覧いただけます。



図1. トマト葉かび病



図4. ブロッコリーの黒すす病



図2. 水稲のイネドロオイムシ



図5. ほうれんそうのネギアザミウマ



図3. 大豆のオオタバコガ



図6. にら白色疫病